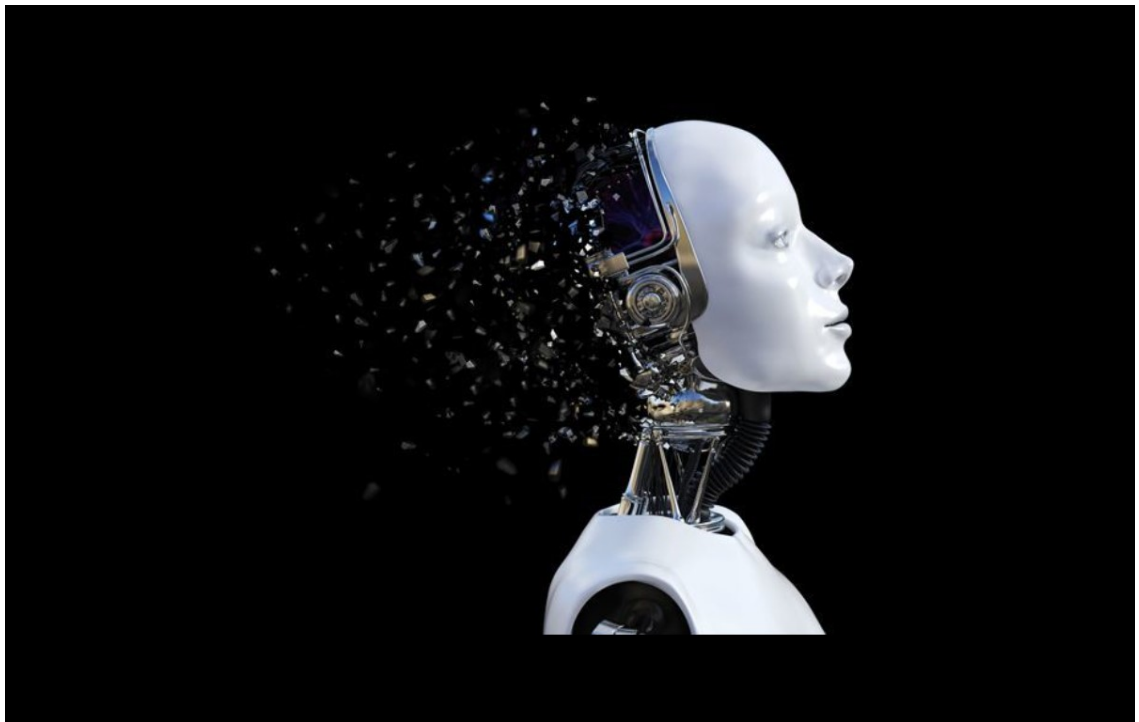


Stanford University STEM留学

世界最先端の国、アメリカで最新の
テクノロジー知識を手に入れる！

7/19 - 8/2/2020



E2 SMILE Co.,Ltd.

留学するなら「イーツースマイル」

<http://e2smile.jp/>

全体日程

E2 SMILEのSTEMプログラムは 『シリコンバレーSTEM見学』 付き！

シリコンバレーSTEM見学	
11:00-11:20	Facebookヘッドクォーター見学
12:00-13:00	San Pedro Square 昼食
13:30-14:30	Appleビジターセンター&旧Apple本社見学
15:00-15:30	Google本社見学
15:45-16:15	買い物
16:45-18:00	オリエンテーション&Stanford大学見学
18:00	寮チェックイン



日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

SFO空港 到着						STEM キャンプ 週末プログラム
STEM見学 Apple Facebook Google見学						

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

STEM キャンプ 週末プログラム						STEM キャンプ 週末プログラム

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

STEM キャンプ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										</
--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

【費用に含まれるもの】

- プログラム申込代行
- サンフランシスコ空港送迎
- オリエンテーション
- Apple・Facebook・Google見学
- ※現地の日程などで見学場所が変更になる場合もあります。
- 滞在料金
- 滞在先での朝食、昼食、夕食

【費用に含まれないもの】

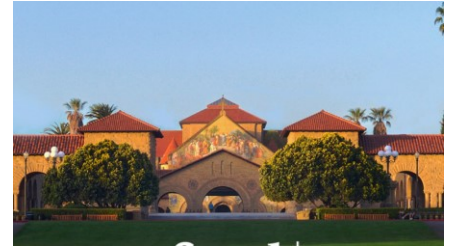
- 私的費用
- 渡米往復航空券代
- 日本国内の移動交通費
- 海外旅行保険代
- オプション費用
- E S T A登録料

プログラム概要



1. テクノロジー留学参加キャンプ：iDTechキャンプ
2. 滞在先：Stanford University
3. プログラム内容：以下のプログラムから選択可能！

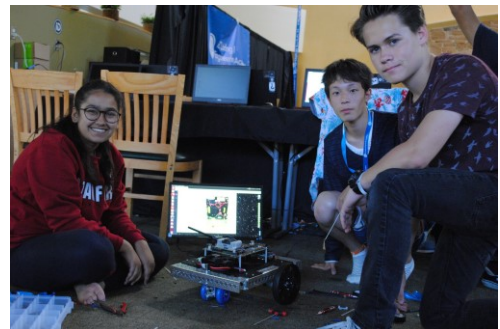
- A) Autonomous and Self-Driving Robotics Lab
- B) Assemble Your Take-Home Laptop and Code in Python
- C) C++ Programming and Unreal Game Development
- D) Unreal Engine 4 Level Design and VR Lab
- E) 3D Modeling: Character Design with Autodesk Maya
- F) 3D Modeling: Environment Art with Auto
- G) C++ Game Programming: Algorithms and AI 2週間
- H) Artificial Intelligence and Machine Learning 1週間
- I) VR Design with Unity and Oculus Go 1週間
- J) Robotics Engineering and Coding Lab with VEX 1週間



※コースの詳細は4ページ目からご参照ください。

Sample Schedule

	平日	週末
	起床	起床
7:15 am		
	朝食	
9:00 am		
	朝の連絡	朝の連絡
9:30 am		
	STEM	課外活動
12:00 pm		
	昼食	
1:00 pm		
	STEM	
2:30 pm		
	Game	課外活動
3:15 pm		
	STEM	
5:00 pm		
	本日のまとめ	
6:00 pm		
	夕食	
7:00 pm		
	Game、レクリエーション	Game、レクリエーション
10:00 pm		
	消灯	消灯

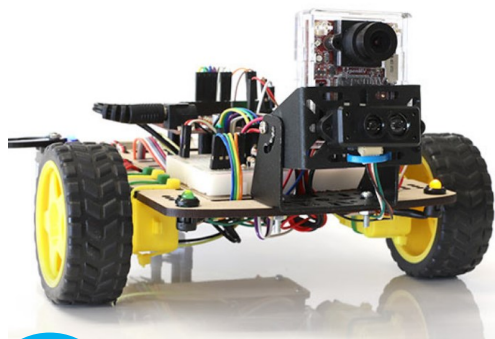


A. Autonomous and Self-Driving Robotics Lab

自分専用の自動ロボットを作ります。ロボット作成には、基本的な電子回路とフレームを使用します。繊細な動きも可能にする電子回路であるArduinoは、ロボットに命を与えます。ロボットが環境を理解したり主導権を持つようにセンサーを組み込みます。

基本的なロボットを作成した後は、コンピューター搭載するため、カメラとマイクロPython（繊細な動きを可能にするPython）を使用し、障害物を察して自動的に曲がるなどの機能を加えることができます。このプログラムは、将来エンジニアとして活躍する一歩として役立つ大学レベルの技術知識を身につけることはもちろんのこと、機械技術の実践、理論的思考、協力する力も身につけることができます。

このコースを取得するために必要な資質：チームワークを発揮する力。このクラスでは、自身のロボットとコンピューターが与えられますが、様々な問題をグループで取り組んでいきます。



このコースで行うこと：

- 電子技術の基礎を学びます。
- コンピューター自動ロボットを研究します。
- ArduinoとマイクロPythonのコードを身につけます。
- Arduino ロボットを作成し、家に持ち帰ることができます。
- 大学レベルの技術知識を身につけ、理論的思考、協力する力を身につけます。

このコースの料金には以下のものが含まれています：

- 持ち帰り用の個別ラーニングプロジェクト
- Arduinoロボット
- 大学へ提出可能なデジタルポートフォリオ
- 大学キャンパスでの寮生活及び食事
- 少人数制クラス
- 12 のオンラインiDマスタークラス
- アカデミー発行のディプロマ及び成績表
- Tシャツ、水筒、バッグ

B) Machine Learning: Coding Deep Neural Networks

もしあなたが、がんの早期発見を託すとしたら、医者とコンピューターのどちらを選びますか？両方選んではいけないということはありませんよね。1950年に開発されたこの技術は、ようやく最近になって効果のある使用ができるようになってきました。最近では、がんの初期段階では、放射線科医よりもディープラーニング技術の方ががんを発見できるようになってきています。画像処理とシナップチャットフィルタに加え、Siriや自然言語処理といった技術が、未来を変えようとしています。このゴールに達成するために、Python、TensorFlowをはじめとした神経回路網を作成するための様々なデータを使用し、コンピューターに記憶させていきます。この情報を処置していき、コンピューターの機能を向上していきます。これを、Deepmind's Starcraft 2といったような実際の専門家が使う環境で使用し、あなたの技術を試していきます。



このコースで行うこと：

- 神経回路網を作るTensorFlowを使用します。
- Pythonを用い、機械学習を研究します。
- 超苦節コーディングをしなくても機会が学んでいける過程を訓練します。
- 機会が学習して学んでいく幅を増やしていきます。
- コーディングを開発し、機械を理解していく能力を身につけます。

このプログラム料金には以下のものが含まれます：

- 持ち帰り用の個別ラーニングプロジェクト
- Jetson Nano
- 大学へ提出可能なデジタルポートフォリオ
- 大学キャンパスでの寮生活及び食事
- 少人数制クラス
- 12 のオンラインiDマスタークラス
- アカデミー発行のディプロマ及び成績表
- Tシャツ、水筒、バッグ

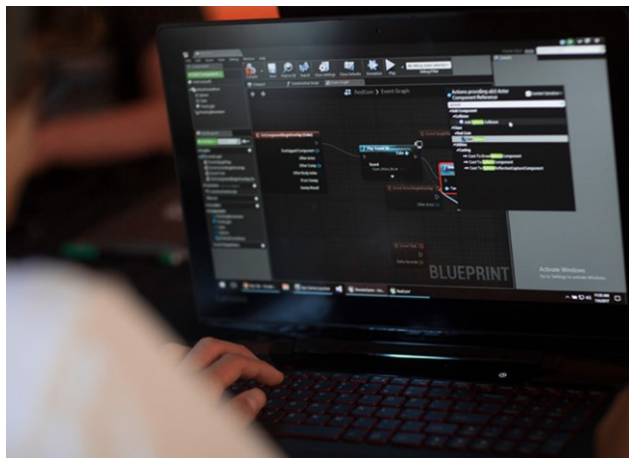
C) C++ Programming and Unreal Game Development

ゲーム
デザイン

ゲームプレイプログラマーとしての第一歩となるプログラムです。

1週目では、Unreal Engineには欠かせない二つの要素、C++とブループリントの基礎を学びゲームを作成します。ゲーム技術の取得とコード技術を身につけ、チームにとって欠かせない人材となることができます。テーマに沿った場面を作成することによってゲームデザインを学びます。

2週目には、チームと一緒にオリジナルのゲームを作成していきます。週の最後にはチームで作上げたゲームの発表会を行います。



- ユーザーのインプットとアウトプット管理
- ゲームループの実施
- ゲーム構築のためのUnreal Engine 4's Blueprints の使用
- C++言語
- チームとなって効率的にできるコントロール技術の習得

下記を家に持ち帰ることができます。

- プロジェクトファイル
- 大学入学用のデジタルポートフォリオ

ゲーム
開発

D) Unreal Engine 4 Level Design and VR Lab

レベルデザイナーとしてのデビューをしましょう！

1週目は、VRデザインがどのように見えるかを研究しながら、Unreal Engine 4のデザインの仕方を学びます。ビジュアルストーリーテリングやライティングでのムードセッティングのような技術を身につけながら、城や宇宙ステーションのような環境を作っていきます。プレーヤー経験もつみながら、ゲームデザイン理論を学んでいきます。

2週目には、グループになって、みんなの共同ビジョンを作り上げていきます。どのようにしたら効率的に作業ができるか、どのように自分の役割を管理していくかを学びます。週の最後には発表会を行います。



- 幾何学を用いてレベルと環境を作り上げる
- ゲームデザイン理論を学びVR言語の習得
- 照明、武器、トリックなどの設置
- Blueprintsの使用。ビジュアルプログラミング言語
- チームとなって効率的にできるコントロール技術の習得

下記を家に持ち帰ることができます。

- プロジェクトファイル
- 大学入学用のデジタルポートフォリオ

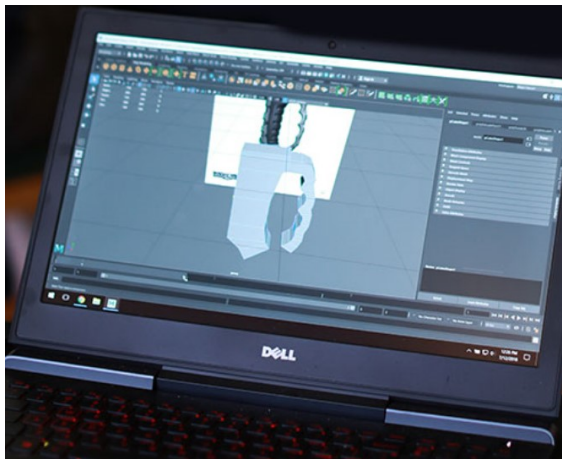
E) 3D Modeling: Character Design with Autodesk Maya

3D
デザイン

キャラクターモデルを作っていきます。

1週目は、Autodesk Mayaを使用し、3Dモデルの作り方を学びます。基礎を習得後は、個々のピースからキャラクターを組み立てていきます。キャラクターのアイデアを平面から立体的にゲームのスターとなるよう作り上げていきます。ゲームデザイン理論、テーマとキャラクターの研究も行います。

2週目では、チームとなって共同ビジョンを作り上げていきます。ゲームのキャラクターを人取り決めたあとは、Unreal Engineで使えるよう準備していきます。週の最後には発表会を行います。



- 多角形を使いモデルやキャラクターを作成します。
- 独自の質感を作成し使用します。
- 独自の素材作成のため、モデルを解析し独特の質感を与えていきます。
- Autodesk Mayaで作った素材をUnreal Engine 4でのデザインに取り入れていきます。
- チームとなって効率的にできるコントロール技術の習得

下記を家に持ち帰ることができます。

- プロジェクトファイル
- 大学入学用のデジタルポートフォリオ

3D
デザイン

F) 3D Modeling: Environment Art with Autodesk Maya

環境アーティストとしてのキャリアを積む第一歩となるコースです。

1週目は、Autodesk Mayaを用いて3Dモデルゲームの使い方を学びます。景色、家具、機械など細かい描写をゲームの世界で描き環境を作成していきます。単純な環境を斬新な環境に作り上げていきます。プレーンストーミングを行いながら、実際に環境を作り上げていくためのゲーム理論を習得します。

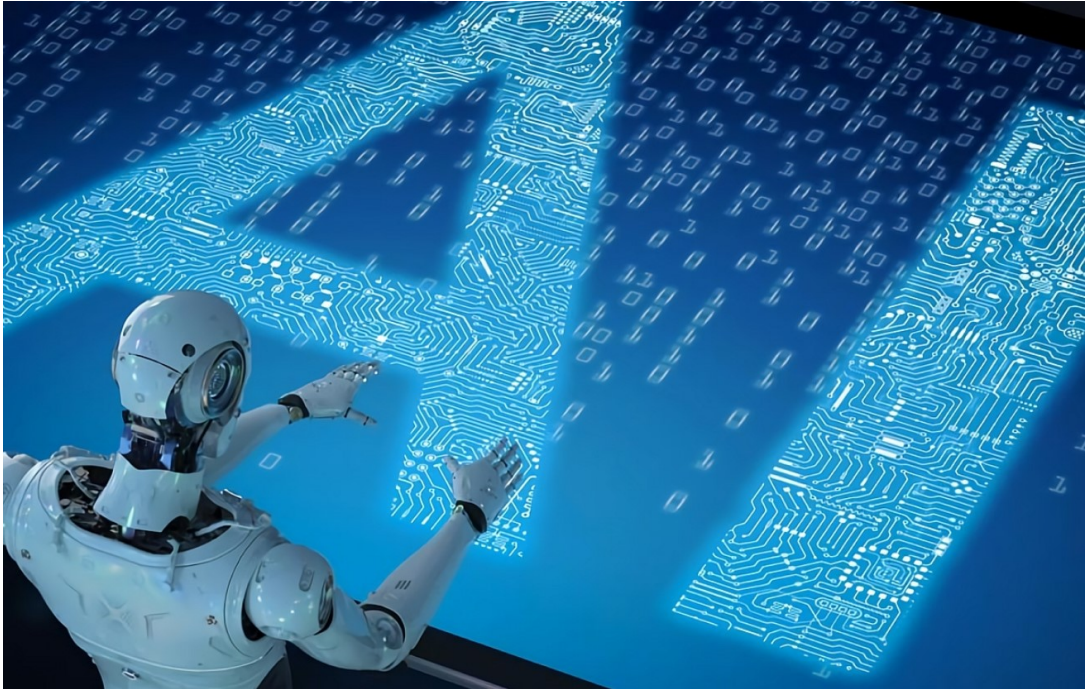
2週目は、チームとなって、実際にゲームの新作発表をします。デザインした環境をゲームの中に取り入れてき、アーティストックなゲームを発表してください。



- 幾何学を用いて、レベルと環境を作り上げていきます。
- 独自の質感を作り出します。
- Autodesk Mayaで作った素材をUnreal Engine 4でのデザインに取り入れていきます。
- チームとなって効率的にできるコントロール技術の習得

下記を家に持ち帰ることができます。

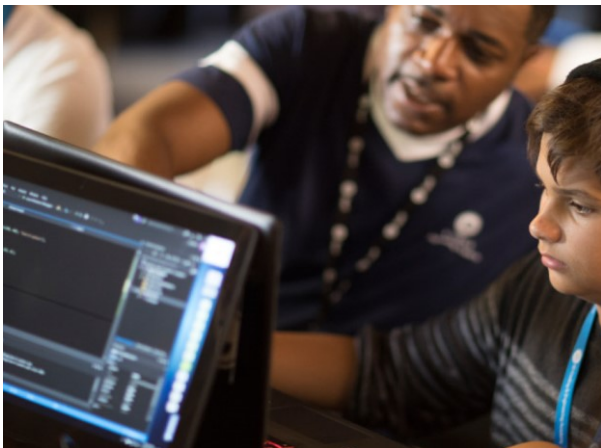
- プロジェクトファイル
- 大学入学用のデジタルポートフォリオ



C++の構文を学び、プログラミングと開発の世界を広げます。第1週目は、この必須のプログラム言語を学びながら、2Dグラフィックのゲームを作成し、カスタマイズしていきます。

ゲームが完成後は、人工知能を追加しよりゲームを発展させ、またゲーム開発に欠かせない経路探索や、地図機能などのアルゴリズムを加えていきます。

初期の簡単なゲームを、人工知能により、より高度で多角的、対話型のゲームに仕上げていきます。C++はゲーム作成、アプリ作成などプログラミングには欠かせない言語です。このコース選択には、基本的な代数の知識が必要です



- 多角形を使いモデルやキャラクターを作成します。
- 独自の質感を作成し使用します。
- 独自の素材作成のため、モデルを解析し独特の質感を与えていきます。
- Autodesk Mayaで作った素材をUnreal Engine 4でのデザインに取り入れていきます。
- チームとなって効率的にできるコントロール技術の習得

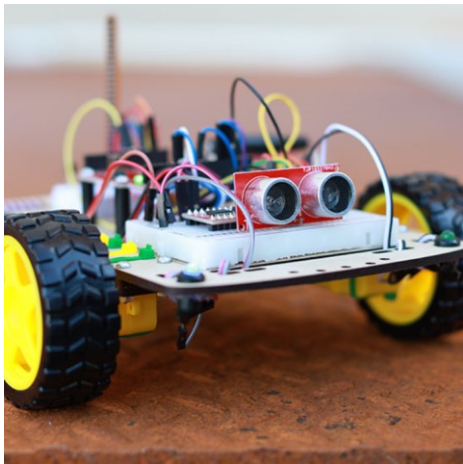
下記を家に持ち帰ることができます。

- プロジェクトファイル
- 大学入学用のデジタルポートフォリオ

1週間のプログラムは

2つ組み合わせて2週間のプログラムにすることも可能です！抜粋してご紹介していますが、興味があるプログラムがあればお問合せください。

Stanford STEMプログラム (1週間コース)	
1	Game Design and Development 101
2	Fortnite Camp and Unreal Engine Level Design
3	Level Design and Cinematics with Unreal Engine 4
4	Program Gameplay Mechanics with Unreal Engine 4
5	VR Design with Unity and Oculus Go
6	Intro to Python Coding for Machine Learning
7	Artificial Intelligence and Machine Learning
8	Cybersecurity and Encryption
9	Voice Apps for Amazon Alexa and Google Assistant
10	Advanced Minecraft Modding with Java
11	Code Apps with Java
12	Java Coding and Game Development
13	Code Apps with C++
14	Develop and Code Games with C++
15	Take-Home Autonomous Arduino Robot and Sensor Kit
16	Autonomous Robotics with Take-Home Sphero RVR
17	Robotics Engineering and Coding Lab with VEX
18	3D Printing Modular Devices with Take-Home Printer
19	Creative Design Lab: YouTube, TikTok, and Snapchat
20	Video Production and Special Effects for YouTube

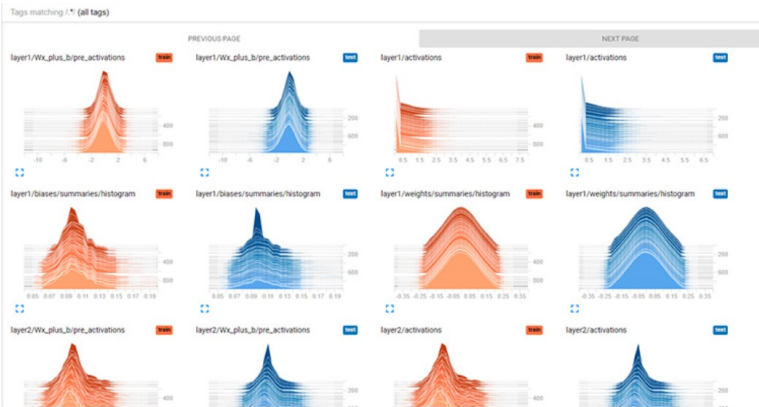


H) Artificial Intelligence and Machine Learning 1週間

AI

1週目は、馬の写真をシマウマに変える人工知能、猫と犬の区別ができる人工知能、チェスのワールドチャンピオンを負かす人工知能などのコーディングを勉強します。以前はファンタジーの世界やマジックでのみ可能と思われていた機能を、コーディングを組み込むことによって人工知能が実現します。

Pythonとコンピュータを脳と同じように働かせるTensorFlowなどを用いながら、統計学、確率、データセッティングを使用し、人工知能をより発展させ、夢だと思われていた機能を実現のものにしていきます。



- ニューラルネットワーク作成のためTensorFlow使用します。
- Pythonを使用して機械学習を研究します。
- コードなしでモデルが学習していけるような仕組みを学びます。
- コーディングに加え論理的思考を身につけます。

I) VR Design with Unity and Oculus Go 1週間

自分の可能性をさらに伸ばすためにコーディング、ゲーム、アプリデザインコースのVRの世界に挑戦してみませんか？電話やワイヤーなどにつながれていない一体型VR “Oculus Go” と、実際に見たり聞いたりすることができて自分をゲームの中に取り込むことのできるゲーム開発プラットフォーム “Unity” を使用します。

このプログラム終了後は、自分のデザインとOculus Goを持ち帰り、継続して自分の作品を向上させていくことができます。



- 環境を作成するために、ゲームのオブジェクト、モデル、およびレベルを使用します。
- C#とプログラムを相互作用させます。
- バーチャルリアリティーの世界を作り上げるために3Dでの構想を発展させます。
- コーディングとデザインの技術を身につけます。

J) Robotics Engineering and Coding Lab with VEX 1週間

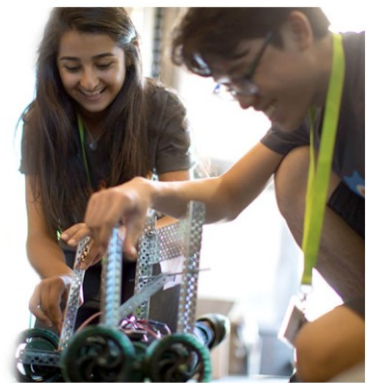
VEX ロボットデザインシステムを使用し、ロボットを次のレベルに発展させます。まずロボットの基礎を組み立て、ワイヤーをつなぎ合わせてパワーを持たせます。チームとなって、障害物を乗り越えるなどの機能を加え、他のチームと競争します。ロボットのコード言語の主流であるROBOTCを使用して、迷路ナビゲートや腕を自由自在に曲げながら、物体を積み上げたり動かしたりするといった機能を加えていきます。チーム一丸となって優勝を目指します。

個々にコンピュータが与えられ、チームで1台のロボットを作成します。

このコースでは下記のことを行います：

正しいギア比率を使用しスピードや回転力をつけていきます。

アナログとデジタル両方のセンサーを用いてタスクを達成できるよう調整します



資料請求



トビタテ
書類作成



合格
本申込



お支払い



渡米準備
オリエン
テーショ
ン

ホームページのお問合せフォーム若しくは資料請求よりご希望のトビタテ留学の資料を請求してください。トビタテ留学の場合は合格までの面談や計画へのアドバイス等の相談料など一切かかりません。万一、不合格の場合も費用の請求しておりません。※ただし、独自の留学計画の作成や専門施設などの交渉など発生する場合は事前に申込&費用が発生する場合があります。その場合は申込前に費用の説明をさせていただきます。

トビタテ書類審査に必要な書類を作成します。
トビタテ（文部科学省）には在籍の学校を通して申請しますので、学校提出期限を確認してください。
留学計画書の6,7ページに留学概要と全体日程など掲載してください。
デジタルデータのご用意もありますので、お気軽にお問い合わせください。
計画書のアドバス&添削はE2SMILEスタッフでサポートしていますので、2020年1月10日までメールでご提出ください。
※但しアドバイスや添削サポートは合格を保証するものではありません。

合格通知を受取後は速やかに申込をしてください。
申込はE2SMILE所定の申込書に必要事項をご記入いただき、（未成年者の申込になりますので親御さんの記入欄あり）留学規約に承認したことを記した申込用紙をFAXもしくはスキャンデータをメールでご提出ください。
申込書と一緒に以下の書類のご提出をお願いします。
・パスポートコピー

FAX:03-6300-0887 OR mail : info@e2smile.jp

お支払いは請求書発行時のみずほ銀行のTTSレート+2円の日本円でのお支払いになります。
トビタテ奨学金に請求書と領収書の提出が必要になりますので、お振込み完了時に発行させていただきます。
費用に関しては一括支払いのみを受付しています。トビタテの奨学金が留学後に支給される場合もありますので、その場合は一時的に自己負担してもらう場合がありますが、予めご了承ください。

現地到着時間などの規定があるプログラムのため、基本的に航空券は系列の旅行会社でご用意させていただきます。もしご自身での手配を希望する場合は現地到着時間などのルールに沿ってご手配ください。
ESTA登録、留学保険の加入は必須です。
ESTAはご自身で登録するようにサポートしています。
保険加入はいくつかの保険会社をご案内しています。

If you can dream it, you can do it.



留学するなら「イーツースマイル」

<http://e2smile.jp/>

03-4560-8181

E2 SMILE株式会社 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-23-1-218

E2トラベル 登録番号：東京都知事登録 旅行業第2-4788号